

悲しみ、怒り、復讐、その後には何が残る？

愛する我が子を殺害されたら親は残りの人生をどう生きるか？
父親は、復讐の道を選んだ。
殺人鬼と化した父親、怯える少年たち、父親を追う刑事。
正義とは？真実とは？少年法とは？
あなたは、この結末に心かき乱されること間違いなし！

書名：さまよう刃 著者：東野圭吾

おすすめする人：樋口 恵美子

分かり合うことなんて無理だと思ってた…

私の言葉は届かなくて、あなたの言葉は分からない。何を見て、感じて、何を思っているのか分からなくて、私はいつも寂しかった。でもこの本が教えてくれた。あなたに心があって私を見つめてくれていると。今はあなたの横で、水道の水を心ゆくまで見つめたい。分かり合える喜びを教えてくれる温かく清らかな一冊です。

書名：跳びはねる思考 会話のできない自閉症の僕が考えていること

著者：東田 直樹 すすめする人：遠藤 沙織

恥ずかしがらずにおばさんの真似するが勝ち

気軽に料理をし、孫と戯れ、競わず疲れない趣味を持ち、地域に出てボランティアをする。そうすれば、感情を言葉で表現することも上手になり、妻と共感し合えるお喋りが楽しめるはずだ。こうしたおばさん化で幸せな健康長寿は間違いなし、という。確かに、長寿の男性はどことなくおばさんぽい雰囲気漂っているものである。

書名：なぜ妻は、夫のやることなすこと気に食わないのか

著者：石蔵 文信 おすすめする人：阪野 甲子

目が見えなくてもみんなの心は、わかるよ!!

小さい頃からの夢を叶え中学校教師になった新井淑則さん。ところが、網膜剥離を発症し34歳で全盲となる。その日から、全盲という現実苦しめられ、絶望のどん底に落ち込むが、家族の支えや視覚障害の高校教師との出会いによってもう一度、教壇に立つ。全盲の先生と生徒のふれあい、感動の実話です。

書名：光を失って心が見えた～全盲先生のメッセージ～

著者：新井 淑則 おすすめする人：小牧 由奈

呪いも魔法も自分次第。嘘でも笑えば幸せに

一度きりの人生、幸せな気持ちで過ごしたいと、誰もが思っている。しかし現実ではなぜか不平不満だらけ。物の見方を変えて今ある幸せに気づこうと、幸福マニアの哲学者アランが8人の悩みへ楽観的に考えるヒントをくれる。幸せは自分次第で作り出せる。まずは割り箸をくわえて脳をだましてみよう！幸せなんて簡単に手に入る。

書名：アラン先生と不幸な8人 著者：五百田 達成
おすすめする人：牧村 幸

あなたの明日は本当にありますか。

「明日やろう。明日やればいいや。」そう思うことはありませんか。明日、本当にできますか。この本は余命1年と宣告されている女の子の話です。ある日、女の子は仲の良い男の子と会う約束をしていました。しかし、女の子はその約束を果たすことはできませんでした。百年後の約束ができる友達をつくりたいと思える本です。

書名：君の臓腑をたべたい 著者：住野 よる
おすすめする人：大野 由理

変化を恐れない情熱こそ夢の実現の第一歩

「戦後復興を世界にアピール。」東京オリンピックは戦後日本の命運を握った国家的プロジェクトであり、その成功が今の日本の礎を築いた。そして、それを支えたのはオリンピックの成功を夢見て人生を捧げた人々の変化を恐れない熱き情熱であった。この本は、熱き情熱をもって2020年に臨みたいという筆者からのエールだ。

書名：TOKYOオリンピック物語 著者：野地 秩嘉
おすすめする人：田口 莉帆

カエルの子はカエルと証明したかったはずが

主人公である緋田風美はスキーマの元オリンピック日本代表であった父の遺伝子を受け継ぎ、将来を期待されているスキーマ選手であった。柚木洋輔はその遺伝子を研究したがっているが、父親である緋田宏昌はその研究を嫌がっていた。なぜだろう。そこにはとんでもない大きな秘密が隠されていた。その秘密とは？

書名：カッコウの卵は誰のもの 著者：東野 圭吾
おすすめする人：矢嶋 菜七

